



# 北海道警察音楽隊&カラーガード隊

～交通事故死ゼロ3000日達成

記念コンサート～

◆記事一覧

- P2-7 ● 町政執行方針
- P8-10 ● 教育行政執行方針
- P10 ● 交通事故死ゼロ3000日達成
- P11 ● 予算概要
- P12 ● 町内就職者紹介／警察官紹介
- P13 ● カルチャーセンター・りっぶ館  
リニューアル
- P14 ● 地域おこし協力隊通信
- P15 ● 保健師だより
- わがまちタイムスりっぶ
- P16 ● ベイビートーク／戸籍の窓口 他

令和7年

6月号

No.262

広報 

りくべつ 富士

# 令和7年度 町執行方針

## 七つの宝を活用し、 町民と一緒に町政推進



令和七年利尻富士町議会定例会三月会議の開催にあたり、町政執行に臨む私の所信と施策の基本的な方針を申し上げます。

昨年は、元旦に能登半島地震が発生し、その後も全国各地で大雨や豪雨災害などが相次いでおります。本町でもサロベツ断層帯や北海道北西沖の地震が想定されており、自然災害の発生を防ぐことは不可能ですが、被害を最小化することは可能であると考えておりますので、より一層の防災・減災対策にしっかりと取り組んでまいりますとともに、町民の安心安全確保は、行政の責任でありますので合わせて町政運営に当たってまいります。

さて、私が町民皆様から心温まる多くの力強いご支援のもと町長に就任

てから三期十二年を迎えますが、就任当初から基本的な考え方を変えずに申し上げている五つの政策方針と、三期目の所信表明時に次世代に苦勞をかけたいため中長期的な財政計画を追加し、六つの政策方針の充実を図るため、今議会に関連する令和六年度各会計補正予算、令和七年度各会計予算を編成し、各条例の一部改正などを提案しておりますが、将来に亘って本町の力強い発展のため、豊かで誇れる地域資源である「山・森・水・花・海・湯・路」の七つの宝を活用しながら、町政の主役である町民皆様と一緒に町政を推進してまいりますので、議員各位、並びに町民皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

### 一・地域特性を生かした 産業の振興

始めに、本町の基幹産業である水産業の状況についてですが、昨年の利尻漁協における町内の漁業生産額は十七億六千六百万円と、昨年より二億千二百万円の減額となりました。

減額の要因は、ウニ・ナマコ・天然コンブの不漁によるものですが、三魚種とも本町の水揚げ上位を占める大変重要な水産資源であり、特にウニ・昆布などの根付資源は沿岸域での海況等の変化に大きく影響を受けることから、引き続き漁場環境のモニタリングと種苗放流や藻場造成、資源管理といった

「つくり育てる漁業」を推進することにより、利尻ブランドを守り、利尻富士町の豊かな海を次世代へ引き継いでいけるよう、国や北海道など関係機関と連携して取り組んでまいりたいと考えております。

新年度における水産振興の取り組みでございますが、まずは担い手対策として新たに三名の漁業後継者に対し磯船を贈呈する予定となっております。また、離島漁業再生支援交付金や特定有人国境離島漁村支援交付金事業の実施により、生産性や付加価値向上、起業・雇用拡大の取り組みを進めるとともに、輸送費支援にも取り組んでまいります。

また、北海道の中でも先駆的な取り組みとなっているブルーカーボン事業についても継続し、リシリコンブという地域資源を最大限活用しながら、脱炭素化と経済の活性化、持続可能な地域づくりの実現に向け取り組んでまいります。

北海道が行う水産基盤整備事業では、富士岬沖及び鬼脇沖に魚礁設置と清川地先への囲い礁整備工事を継続し、海岸事業では流木等海岸漂着物の処理を継続し実施してまいります。

港湾関係では、国直轄事業として鶴泊港鬼脇港区の南防波堤とマイナス二、〇m物揚場の改良工事を継続するほか、港湾管理者としても鶴泊港本港と鬼脇港区の維持補修工事を実施してまいります。

次に観光業についてですが、観光入込客数について昨年はコロナ以前への回復を期待してりましたが、令和六年度上期の観光入込数は十万四千人、宿泊客延数は六万三千人と、昨年より一割程度増加したものの、結果的に令和元年と比較し八十五%程度の回復にとどまっております。

観光業全体を見ますと、個人旅行の増加に伴い、飲食店不足や二次交通面での課題が浮き彫りとなっているほか、体験型観光の高まりにより、昨年は登山者数が初めて一万人を突破する中で、浸食が進行する登山道の維持対策であったり、増加傾向にある外国人観光客対策など、来訪者の満足度向上や持続可能な観光地域づくりが求められておりますので、「きた・北海道DMO」や観光協会、商工会、各事業者等と連携し、課題解決に取り組んでまいります。

新年度における観光業の取り組みでございますが、体験・滞在型観光推進のため、スタンプラリー「利尻クエスト」や「サイクルオアシス」設置によるサイクルツーリズムの推進、本年度ワークショップを重ねてきたカルチャーセンター・りつぷ館のリニューアルに向けた取り組み、インバウンド等受け入れ環境整備のためのWiFi（ワイファイ）環境整備、北海道遺産協議会と連携したパシフィックコミュニティ生コンサートの開催、産官学連携による道内大学のフィールドワーク活動の

受け入れ、秋のFDA（フジドリームエアラインズ）チャーター便の増便対策として、DMO連携地域による地域の食と映画を活用した魅力向上事業の実施など、本町の魅力発信と交流人口の増加、観光消費額拡大を目指し取り組んでまいります。

また、利尻富士温泉保養施設につきましても、機械設備等の大規模改修を計画しており、十月頃から二ヶ月程度の休業が必要となりますので、観光や町民利用に大きな支障が生じないよう取り組んでまいります。

環境省につきましては、新年度より利尻山登山道を直轄事業として九合目から山頂部までの危険箇所を優先して整備を進める計画となっており、登山道を持続的に維持管理するよう取り組んでまいります。

鬼脇地区においては、二石海岸公園に駐車場を整備いたします。

商工業につきましては、昨今の物価高及び輸送費高騰の影響を考慮し、地域経済活性化のため地域振興商品券事業の継続、商工会の運営に対する補助金の増額のほか、中小企業融資条例に基づく運転資金及び設備資金の増額等による支援強化のため、条例の一部改正を本会議に上程しております。

**二、離島の自主的な発展と安定した生活基盤の整備**

私たちが暮らす離島地域は、離島振

興法によりインフラ整備や産業振興など各種の振興策が国により講じられ、住民の生活の安定及び福祉の向上が図られておりますが、本土より遠隔の地に位置する「特定有人国境離島地域」については、なお人口減少が著しいことから、離島振興法等の施策に追加する形で、平成二十八年四月に有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法が制定されております。この、通称有人国境離島法により、国境離島

地域ならではの特性に応じた施策が推進され、航路・航空路の離島住民割引運賃による島民の運賃低廉化をはじめ、輸送コスト支援、滞在型観光の推進、雇用の拡充について支援されており、三月三十一日まで残り二年となり、実質この十二月までが法改正に向けた活動の正念場となることから、国や北海道をはじめとした関係機関との連携・調整を強化しながら、本法律の改正・延長・拡充に向け全力で取り組みを進めてまいります。

また、原油価格や食料物資の高騰など本土以上に離島住民にとっては重い負担となっていることから、宗谷地域総合開発期成会や北海道離島振興協議会を通じて、国や北海道、関係機関に対し支援方策について強く求めてまいります。

航空路線運賃につきましては、運賃の低廉化のほか日本航空（JAL）・全

日空（ANA）とも、お客様のより良い利便性と負担軽減を図るため、従来より行っております離島住民割引制度等の助成についても継続してまいります。

通年運航のJAL便（利尻―丘珠間）は、三月三十日から十月二十五日までの夏期ダイヤにおいて、金曜日、土曜日、日曜日のほか、ゴールデンウィーク及びお盆期間等の祝日を合わせた十九日間において午前便の増便が決定しており、この複便化により離島住民の生活交通路線及び道央圏から離島への観光路線として、更なる利便性向上を図ってまいります。

また、季節運航となっているANA（利尻―新千歳間）は、今年度も六月から九月までの四ヶ月間運航されることとなっており、今後も離島住民の生活、医療、観光、経済の活性化に必



FDAチャーター機

要不可欠な生活路線でありますので、運航事業者に赴き、航空路線の維持・存続を図ってまいります。

FDAにおいてもチャーター便の運航が計画されておりますので、期待をしております。

町道整備につきましては、鴛泊市街一号线（神社通り）の排水対策と栄町四号線の改良（見晴ヶ丘団地R六から見晴ヶ丘団地S六十三まで）、鴛泊市街中央線の歩道整備を行うほか、自治会から要望のあった本泊漁港線の側溝改修を実施いたします。また、令和五年度から着手しました街路灯LED化事業につきましても、今年度の最終年度を迎え、全ての街路灯がLED化される予定です。

除排雪では、冬期間における除雪体制を維持し、生活道路の安全・安心対策や通行確保に努めてまいります。

道路の整備につきましては、自転車道に架かる三橋の橋梁補修設計を実施いたします。また、実施時期は未定ですが、鯉泊地区の道路改良工事、昨年度完成した富士野地区の橋梁架け替え事業に伴い、仮設道路の撤去と護岸整備を予定しております。さらに、各地区で落石対策調査および雪況調査を実施する予定となっております。これらの整備により住民の皆様が安心して通行できるような適切な維持管理に努めるとともに、狭隘地区の道路整備促進についても関係機関と協議を重ね要望を行ってまいります。

住宅施策では、今年度も見晴ヶ丘団地の建て替えと外構・駐車場の整備を継続して進めるとともに、富士野団地及び第二船見ヶ丘団地の個別改善工事について、次年度着手に向けて設計を進めてまいります。

また、公営住宅長寿命化計画の見直しを行い、計画的に快適な住宅環境の提供に努めてまいります。さらに、町職員住宅につきましては、老朽化した住宅を解体し必要な土地の確保を行ったうえで、新たに一棟四戸の職員住宅を建設し、職員の居住環境の改善を図ってまいります。

駕泊市街地街なみ環境整備事業につきましては、昨年、駕泊市街地まちづくり協議会及び駕泊市街地整備促進期成会の皆様とともに計画スケジュールの見直しを行い、今年度は、昨年度から着手している旧消防跡地の駐車公園整備を完了するとともに、新たに避難



旧消防跡地

誘導サインの設計とポケットパークの整備を実施いたします。

水道事業につきましては、安定供給を維持するため適切に施設を管理してまいります。特に駕泊地区では、昨年の調査で判明した漏水箇所の補修工事を行い、地域住民の皆様が安心して利用できる水道インフラの維持・向上に努めてまいります。

下水道事業につきましても、令和六年度策定の次期ストックマネジメント計画を基に本年度も駕泊終末処理場の長寿命化を図るため、電気計装設備の更新事業を実施し、施設の適正な維持管理及び安定した水処理を行うとともに、引き続き施設の適正な維持管理に努め、清潔で快適な環境づくりを進めてまいります。

役場をはじめ建設業界や商工業界など、あらゆる職種で労働力不足問題が顕在化しており、早急な対策が求められていることから、地域活性化起業者による民間力を活用し、求人情報の集約・紹介を担うワンストップ窓口の開設を目指し動き出すとともに、窓口の事務局や地域での働き手となり得る地域おこし協力隊の募集を開始いたします。

また、若手職員を中心としたSNSによる新たな島の魅力発信や令和五年度に制作した職場PR動画の継続発信、求人情報サイトを活用した職員募集情報拡散など、職員不足対策に今までの以上に力を入れ取り組むとともに、時

代の流れに取り残されることのないよう、全庁的な意識改革や体制整備により、持続可能な社会づくりに努めてまいります。

以上のとおり、離島地域で生活している私たちが、地理的特殊事情からくる様々な制約を改善し、自主的に持続可能な発展を推進するため、国や北海道との連携を一層強化しながら住民の生活基盤の改善を図ってまいります。

### 三. 命をまもる 地域防災力の充実

冒頭でも触れましたが、昨年元旦に発生した能登半島地震では、いまだに避難所や宿泊施設に身を寄せる方がいる中、八月には南海トラフ地震臨時情報が二〇一九年の運用開始以降初めて発表されたということでは、令和六年は改めて日本が地震大国であるということ突き付けられた年となりました。

本町においては、サロベツ断層帯において最大マグニチュード七・六、北海道北西沖地震においてもマグニチュード七・八の地震が想定されていることから、引き続き、地震・津波はいつ起きてもおかしくないとの考えの下、本町の防災対策を進めてまいります。

また、昨年は幸いにも本町において大雨警報の発表はなかったものの、毎年全国各地で大雨による土砂災害が発生しており、報道等により避難所運営の難しさをあらためて痛感しているこ

とから、令和六年度に導入した災害用大型トイレカー一台による避難所における衛生環境の強化と連動し、能登半島地震での避難所運営を基に洗い出しを図り、水や乳幼児用のミルク、乳幼児・高齢者のおむつ等を追加した災害用備蓄品を整備し強化充実を図ります。

大雨等による土砂災害の危険性の認知についても、関係機関との連携を密に迅速な住民対応にあたるとともに、自主防災組織との避難所運営訓練を実施する等、災害発生による避難所運営に万全を期してまいります。



沼浦・南浜・野中地区避難所運営訓練

消防関係につきましても、消防職員四名を採用し、火災・災害に対応出来るよう消防職員はもちろん、消防団員との訓練強化に取り組んでまいります。

救急業務につきましても、新規採用職員のうち二名が救急救命士を取得予定であり、教育指導や訓練の向上を図り救急業務を充実させるとともに、本

年一月に企業版ふるさと納税で寄贈を受けました、救急車の電動ストレッチャーを導入するなど、住民に対する安心・安全な救急体制の維持に努めてまいります。

さらに新規採用職員四名並びに救急隊員資格取得のため救急科に一名を北海道消防学校に入校させるとともに、大型自動車免許を一名に取得させ消防力の強化を図ってまいります。

治山・砂防対策としまして、令和五年度に休止していた湾内地区オモベツ川の改修工事について工法を見直したうえで実施いたします。また、自治会の要望を受け、大磯地区の排水改修工事を実施いたします。

稚内建設管理部が実施する砂防事業では、災害復旧対応として今年度もアフトロマナイ川導流堤内、オチウシナイ川床固工及び砂防堰堤内の除石と砂防堰堤の補修を実施する予定です。

宗谷森林管理署では、令和六年度補正予算によりヤマナイ沢の床固工の整備と湾内地区深内沢川の床固工嵩上げ整備を実施いたします。

また、今年度は鴛泊・鬼脇両地区において火防線等の保全整備を実施するとともに、本泊・南浜地区では下刈りを中心とした保安林整備を計画しております。

宗谷総合振興局林務課では、小規模治山事業として引き続きヤマナイ沢治山施設内の排土工を実施する予定となっております。

#### 四. 心身ともに健康で安心して暮らせる環境づくり

五人に一人が後期高齢者という超高齢社会がもたらす様々な問題に直面するといわれる二〇二五年を迎え、医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体となり、住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができる「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、働き手、介護・医療人材の不足の中、サービス提供体制の確保に努めてまいります。

また、高齢者に重要とされる介護予防支援につきましては、社会福祉協議会に事業委託し、買い物等の外出支援、運動教室の開催を継続するとともに、老人クラブや関係団体と連携しながら進めてまいります。

保健事業につきましては、町民一人ひとりが自分らしく、はつらつとした生活を送るため、ライフステージに応じた事業の充実を図ってまいります。

健康づくりでは、引き続き特定健診、各種健診の体制整備や受診勧奨に努めるとともに、自身の健康に関心に向け、生活習慣の改善につながるよう、健診結果に基づいた特定保健指導や健康増進に関する普及啓発を進めてまいります。

健康寿命の延伸に向けては、高齢者のフレイル予防のため、後期高齢者健診や正しい知識と実践に向けた教室事業を実施するほか、普及啓発にも努

てまいります。

带状疱疹の発症やその合併症予防を目的とした带状疱疹ワクチンが令和七年度に定期接種となることから、接種体制を構築し、接種費用の一部助成を実施してまいります。

秀峰園につきましては、介護サービスの維持を図るため、職員の確保や入居者が快適、安全に生活を送ることができるよう、職員研修を実施するなどサービスの質の向上を図ってまいります。



フレイル予防教室

職員の確保については、引き続き関係各校への訪問や募集などを継続するほか、外国人留学生を更に一名要請し、外国人労働者の受け入れを進めるなど、職員確保に努めてまいります。

また、介護職員住宅二棟八戸を建設し受け入れ態勢を整えるなど、島内外の人材確保や住生活環境の充実化に取り組んでまいります。

デイサービスセンターでは、安定した施設運営を図るべく職員確保に努め、関係各所と連携を図り、多くの町民に利用される施設を目指し、通所される利用者の支援やサービスの向上に努めてまいります。

利尻島老人保健施設では、引き続き利尻島国保中央病院から理学療法士の出向を継続し、通所リハビリテーション事業の万全なサービス提供に努め自立支援を促進します。また、本施設は開設から二十五年が経過していることから、老朽化しているポイラー機器一台の更新を行うとともに、令和二年度より年次計画により更新している各居室の電動ベッドを今年度も五台更新し、利用者が快適に過ごせる環境の整備と、一人ひとりに応じた適切なケアを維持し、安心安全な施設運営に努めてまいります。

鴛泊診療所につきましては、地域住民の健康を守る役割を担う診療所として、安心して受診できるよう利尻島国保中央病院と連携して継続的かつ効果的な医療の提供に努めてまいります。

子育て支援施策では、令和七年度入所予定児童三十九名への保育サービスの提供、老朽化した鬼脇保育所の木製アスレチック遊具の解体等、安心安全な保育体制に努め、将来をつなぐ保育人材の養成についても、職場体験やインターンシップ、まちのPR、短大等の養成校との連携構築に継続して取り組み、人材確保に努めてまいります。

交通安全対策につきましては、これまで本町の交通事故死ゼロの記録は平成五年四月まで七年八月続いた二八〇九日が最長でしたが、昨年十一月二十日をもって最長記録を更新することができました。

これもひとえに、町民皆様の交通安全意識の高さから成し遂げられたものであり、改めて敬意と感謝を申し上げます。次第でございます。

本年三月一日現在で二九一二日と記録を更新中であり、五月二十八日の三〇〇〇日達成の暁には、交通安全大会を開催するとともに道警音楽隊のアトラクションにより花を添え、更なる記録更新へ向け全町一丸となって取り組んでまいります。

### 五. 心身の健やかな成長と学びを支える教育の推進

本町の教育施策を推進するにあたっては、「利尻富士町教育大綱」を軸として、教育政策の目標を掲げ、それぞれの施策を着実に実行していく所存であります。

令和七年度に三年目を迎える「小中一貫教育」については、町としても児童・生徒の学びを支え、成長を促す重要な施策ととらえており、児童・生徒にとってよりよい取り組みとなるよう期待するものであります。

また、学びを支える教育の推進にあたっては、授業や家庭学習等で必須な

タブレット端末の更新を児童生徒・教職員全員分について、北海道で進める共同調達を活用しながら取り組んでまいります。

子どもたちの心身の健やかな成長に欠かせない学校給食については、引き続き児童・生徒を対象とした学校給食費の無償化を継続し、また利尻高校において、これまでの調査・検証をふまえて、給食提供を導入してまいります。

さらに、児童・生徒に対する効果的な教育活動に専念できるよう教職員の働き方改革をより進め、管内でもいち早く取り組んでいる部活動の地域移行の課題に対して、地域の教育力を高めるための学校教育と社会教育それぞれの強みを取り入れてまいります

例年、北海道エアシステム（HAC）のご協力により実施している「ふるさと教育体験事業」については、本年五月に小学六年生を対象として計画しており、利尻島上空を遊覧飛行する直接体験を通して、ふるさと利尻島への愛着や誇りを育む教育の充実に取り組んでまいります。

### 六. 脱炭素社会の取り組み

令和五年三月に「二〇五〇年に温室効果ガスの排出量または二酸化炭素を実質ゼロ」を目指すべく、礼文町と利尻町との三町共同によりゼロカーボ

ンシティ宣言をし、令和六年四月に利尻富士町地球温暖化対策実行計画を策定しております。今年度は街路灯、駕泊中学校体育館のLED化及び公用車二台をハイブリッド車に更新し、温室効果ガスの排出抑制に取り組むとともに、リシリコンブによるブルーカーボンによるCO2の吸収源対策により、脱炭素化に向けて取り組んでまいります。

### 七. 地方創生関係

地方創生関係につきましては、現在の「第二期利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和七年度をもつて期限を迎えることから、新たな総合戦略を策定し、石破内閣により起動した地方創生二〇による、新しい地方経済・生活環境の創生に対応してまいります。

地方創生が十年を迎え、本町は消滅可能性自治体からは脱却となりましたが、今年度は五年に一度の国勢調査の年となりますが、人口減少はなお続いていくことから、各項目において触れているものもありませんが、人口減少をさらに鈍化させるべく、地方創生二〇の五本柱のひとつ「安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生」のもと、出産支援や子ども医療費の無償化、通学支援金の給付等十の事業を継続し、引き続き魅力ある地域づくりを進めて

まいります。

### 八. 本町の財政運営について

本町の財政状況は、議会や町民の皆様方の行財政改革に対するご理解とご協力のもと着実に進められており、財政健全化法に基づく四つの指標も、すべて国の基準をクリアしています。

令和七年度の予算は、人口減少の進展により益々厳しさが増すことが確実視される本町の財政状況の中で、限られた財源の重点的・効率的な配分に留意し、町民皆様の安心・安全な暮らしを最優先に予算編成を行ったところでありあります。

その中で、建設事業費は、一般会計で九億六千九百三十五万円、特別会計・公営企業会計では三億三百六十四万円の合わせて十二億七千三百万円となり、対前年度比十四・九%の増額を見込んでおり、これらの事業費によって地域の雇用、経済の好循環を促すための景気対策を講じようとするものであり、当初予算に捕らわれず、財源を確保しながら経済対策を進めてまいります。

また、財源不足を補うため基金を取り崩して充てることとしており、そのうち、全国各地の皆様からご厚意により寄せられている「ふるさと応援基金」五億五千万円を有効に活用すべく三十の事業に充たいいたします。

令和7年度 建設事業一覧表

〔一般会計〕

単位：千円

事業名		事業費
総務費	職員住宅13解体工事	7,500
	職員住宅17解体工事	7,500
	職員住宅建設工事	175,200
	二石海岸公園駐車場等整備工事	4,900
	庁舎排煙窓修繕工事	2,200
	北のしーま温泉貯湯槽改修工事	4,700
	車輛購入費	3,080
	計	205,080
民生費	鬼脇保育所遊具解体工事	784
	計	784
農林水産業費	治山施設維持補修工事	9,300
	小規模治山事業	19,580
	離島漁業再生支援交付金	44,686
	水産環境整備事業負担金	5,500
	海岸漂着物処理業務委託料	7,000
	漁業施設整備事業補助金	8,550
	特定有人国境離島漁村支援交付金	16,780
	計	111,396
商工費	南浜園地駐車場整備計画調査設計業務	1,716
	利尻富士温泉保養施設改修工事	139,532
	計	141,248
土木費	街路灯LED化更新工事	7,500
	町道改良工事（鴛泊市街1号線）	135,650
	町道改良工事（栄町4号線）	46,000
	町道改良工事（鴛泊市街中央線）	9,000
	町道側溝改修工事	6,500
	鴛泊港維持補修工事	5,000
	鴛泊港整備事業負担金	47,900
	鴛泊市街地街並み整備事業	17,500
	公営住宅個別改善事業	11,000
	公営住宅長寿命化計画策定事業	3,900
	公営住宅整備事業	204,000
	飛行場標識施設補修工事	3,276
	滑走路補修工事	4,500
	計	501,726
消防費	光ケーブル移設工事	1,000
	計	1,000
教育費	スクールバス購入費	4,620
	鴛泊中学校体育館LED化工事	3,498
	計	8,118
一般会計合計		969,352

その結果、一般会計の予算規模は五十四億千七百二十万円とし、対前年度比二億八千九百六十万円増、率で五・六％の増額予算となっております。

また、特別会計では、今年度から温泉事業特別会計を一般会計へ引き継ぎましたが、介護職員住宅整備事業の実施等に伴い、港湾整備事業会計他六つの会計の合計で十七億八千三百七十三万四千円、対前年度比一億千二百三十一万二千円の増額、簡易水道事業と下水道事業の公営企業会計の合計では

四億五千四十一万二千円となり、一般会計と特別会計並びに公営企業会計を合わせた総額では七十六億五千三百三十四万六千円とし、対前年度比四・〇％の増額予算となっております。

職員体制については、令和七年度の一般職の採用見込みはなく、依然として体制の維持が大変厳しい状況にあるため、以前にも増して住民サービスの低下もあり得る事態となっておりますので、町民の皆様にはご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上、令和七年度の町政執行に対する私の所信の一端と、主な政策を申し述べましたが、まちづくり創造総合計画も計画期間の終盤に差し掛かってまいりました。三つの基本目標である「豊かな自然と元気な産業を育てるまち」、「笑顔で暮らせる、住み続けたいまち」、「ふるさとを支える、人の魅力があふれるまち」を実現させるため鋭意専心して取り組んで参ります。

利尻富士町の発展、そして町民がゆとりと豊かさを実感して暮らせるよう、

当初から提唱しております「町民が主役のまちづくり」を推し進め、利尻富士町が悠久のふるさとであり続けるよう、先頭に立って町政運営に取り組みでいく所存でありますので、町議会議員の皆様をはじめ、町民皆様の温かいご支援と、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、令和七年度の執行方針とさせていただきます。

# 令和7年度 教育行政 執行方針



## はじめに

令和七年利尻富士町議会定例会三月会議の開催にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針を申し上げます。

変動性や不確実性、複雑性の高い時代の中でも、教育基本法に定められた教育の目的と理念をもとに、推進中の各種計画に基づき教育の一層の振興と充実を図るべく、令和七年度において次の四つの主要な施策を推進します。

### 一．学びの継続性を確保する 小中一貫教育

「教育は国家百年の大計」と言われます。人材育成は国家の要であり、百年後の日本を支える人物を育てるため

に長期的視点で教育を行うことの大切さを説いた言葉です。昭和百年を迎えた令和七年、利尻学校が鬼脇に設置されて百四十年という年月の間に本町の教育と社会の発展の礎を改めて認識し、本質の変わらない学校と一人ひとりの「生きる力」を育てる学校づくりに努めてまいります。

令和五年度にスタートした「りしり富士小中一貫教育」は小中九年間におけるめざす子ども像を掲げ、一貫した指導体制や教育課程のもとその三年目を迎えます。

子どもが興味・関心や能力と特性に応じて自ら教材・方法・ペース等を選択できる環境を整えるなど、学習者が主体的に学ぶ中で自ら学習を調整しつつ資質・能力を身に付けることの重要性やその中で教員が発揮すべき指導性や位置づけを検討することが求められているとともに、児童・生徒の発達段階に応じた支援を行い、自己肯定感を育む心の成長を支えることが重要です。

地域の資源を活かしたふるさと利尻富士での学びや豊かな体験、文化芸術やスポーツでの感動体験などを通じて、多様な人となりが感情を共有し、学びの継続性を確保し、学力と人間力のバランスを育てるため、学習内容の系統化や心の成長支援、地域との連携、教員の指導力の向上を重点的な施策として位置付け推進してまいります。

令和七年度、小中一貫教育における在籍予定児童生徒数は、駕泊地区で八

十九名（小学校五十六名、中学校三十三名）鬼脇地区では四十五名（小学校二十七名、中学校十八名）の計百三十四名となっています。令和六年度と比較すると一名の減少となりますが、鬼脇中学校では学級編成の基準によりこれまでの二・三年生の複式学級が単式学級へと解消され、教員定数も三名増えることから指導体制が強化されるとともに全学年複式学級の小学校へのチームティーチングや乗り入れ授業など教員が連携し、一貫した高い指導力を目指していきます。また、小学校と中学校との接続部分の学びの連続性をさらに深めるため校種間の関わり合いと小・中さらには保育所がそれぞれ蓄積している様々な情報を共有し、縦の連携を意識しながら目指す方向性を的確にすることを推し進めます。

### 二．個別最適な学びのための 学習基盤の整備と活用

令和元年から始まった国の教育改革GIGAスクール構想から六年、本町が令和二年度から先行して導入した児童・生徒及び教職員用のタブレット端末を含む学校ICTの環境整備は学びのスタイルを変え、先進的な事例とともにその効果を発揮し続けています。

令和七年度において、北海道が主体となつて行う一人一台タブレット端末の更新に係る共同調達はそのスケジュールメリットから、子どもたちの学びを止

めない環境と一人ひとりの興味関心に応じた学びのICT教育として、本町でも国の補助要件による端末調達を実施し、すべての小中学校の児童・生徒用百五十七台の導入とともに、教員用端末七十台をあわせて端末更新のための必要経費を予算計上しております。課題の解決に向けて話し合い、まとめ、表現する学習活動において、ICTを使う頻度が高いことが本町の学校ICTアンケートでも明らかになっています。ですが、「ICT機器を使うかわらないか」ではなく、「主体的・対話的で、深い学びの授業ができていくかどうか」を検証するための授業改善が最も重要で、それに必要なのがICTであると思っています。

個別最適な学びの基盤整備とともに、この度策定した「第一次利尻富士町学校情報化推進計画（令和七～令和十）」において、目指す方向性とその取り組みについて学校全体で共有理解し、GIGAスクールのセカンドステージとして、子どもたちの探求的な学びと教職員の指導力の向上努めてまいります。また、日々の授業で使用する中学校用教科書すべてが令和七年度から新たな採択のもと使用されることから、指導用教科書を更新し、授業での生徒の学びをデジタル教材とともに関連付けられるよう支援します。

学校での生成AIを適切に活用する取り組みが進んでおり、本町でも道教委が展開する「生成AI活用チャレ

ンジプロジェクト」に篤泊中学校がチャレンジ校として選ばれ、授業実践の事例として昨年九月から効果的な教育実践のモデルとして成果を上げています。今後、生成AIがさらに社会生活に組み込まれていくことを念頭に置きながら、発達の段階や各学校段階、情報モラルを含む情報活用能力の育成を一層充実させていく必要があります。



生成AI授業

### 三. 学校と地域との 接続性と人づくり

教育における人づくりは、個々の児童・生徒の可能性を最大限に引き出し、社会に貢献できる人材を育成することです。人口減少に伴う深刻な「なり手不足」や「働き手不足」への課題に対応するためには、高度なスキルや創造力を育むキャリア教育と学校と地域社

会を結び、地域全体で子どもを育てる風土を醸成することが大切であると認識しています。学校において堅実な職業の魅力と社会的な役割を伝える授業や体験活動を強化するため、これまでのふるさと教育での教科等の枠を超えた横断的・総合的な教育活動の工夫をしてみたいです。さらに学校運営協議会（コミュニティ・スクール）をはじめ、地域の施設や人材等、身近な教育資源を積極的に活用した学習の充実に努めることで社会において主体的に生き、貢献できる人材を育成できるような地域との接続性に取り組んでまいります。

様々な要因で学びに向かうことのできない子どもたちが増加傾向の中、昨年度から実施している医療系専門大学である北海道医療大学との組織的な連携をさらに強化し、子どもたちの心と環境の改善へ向けたスクールカウンセリングをはじめ、児童生徒の個別のデータ解析や大学生のボランティア実習の受入れを実施し、「メンタルヘルスケアの先行地域」として「北海道医療大学メンタルヘルス連携事業」を継続するとともに地域の課題を含めた包括的な連携を模索しながら実施してまいります。

令和六年度から道内二十九市町村がスポーツ庁の委託事業を活用し、部活動の地域移行の実証事業に本町でも先行的に取り組んでいます。地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ環

境を整備し、多様な機会を確保するため「地域の子どもたちは学校を含めた地域で育てる」という理念のもと関係団体との協力を得て、今年度は新たにバドミントン部の地域クラブ活動を展開してまいります。国の改革推進期間が令和七年度まで、次期改革実行期間を令和十年度までとしている今後の方向性を着実に捉え、課題の解決をしつつ安定的・継続的に「地域展開」が進められるよう取り組んでまいります。また、活動拠点となる学校開放の仕組みづくりや環境の整備、さらには学校施設が災害時のプラットフォームとなるよう篤泊中学校体育館のLED化を実施し、ゼロカーボンの取り組みへの貢献を推進してまいります。

### 四. 持続可能な社会の創り手 となる社会教育の推進

大人たちが生涯学習での学びの成果を家庭・学校・地域の中で活かすことで持続可能な社会の創り手となる子どもたちを育むための大きな力になります。その一役を担う本町の学校運営協議会は社会教育を通じた地域での学びの窓口として機能し、本町が掲げる「学びあい」「ふれあい」「活かしあい」を基本目標とした生涯学習推進計画とともに、関係者の皆様とその理念に沿った事業を展開してまいります。それらの活動の根幹となる場については、学校を始め公民館など各世代に

向けた日常的な集いの場の提供や子どもたちに向けた放課後や休日、夏休みの各種教室開催など、地域の大人が見守る安全・安心な居場所づくりにつながる環境の整備と体験活動を継続してまいります。

これまで地域の指導者が主体となつて、子どもたちとともに活動している団体などの発表の場では学校外での生き生きとした表情や意欲を直に感じ取ることができ、率先して「地域ぐるみで子育て」を実践されている皆さまに対し、深く感謝しながら敬意を表するとともに、その熱意は着実に次代を担う中高生にも伝わり、その活動に加わっていくことで成果が表れていることから、夏休みチャレンジ教室や町外の子どもたちの交流事業などの場面でも、リーダーとしてステップアップできるような取り組みを継続して進めてまいります。

運動やスポーツへの親しみや習慣化は、生涯を通じて心身ともに明るく健康で豊かな生活の実現につながっていきます。青少年団体への支援や施設の効率的な利活用をはじめ、前例に対する検証評価を加えながら教室やイベントの運営に活かしてまいります

文化・芸術は、人々の創造性を育み、その表現力を高めるとともに、心のつながりや相手を理解し尊重し合うことで、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであることから、文化活動団体への支援のほか、



遊覧飛行

継続して実施されている劇団四季公演をはじめ、学校を核として子どもたちが本物の文化・芸術に触れることができるよう、また専門的な生の音楽にも深く親しむ機会を設けてまいります。

また「ふるさと教育」として、これまで継続してきた小学六年生を対象とした利尻島遊覧飛行や航空教室をはじめ、文化財保護活動においては郷土資料館やカルチャーセンター・りつぷ館それぞれの特色を活かした資料の公開や学校授業等学習のサポート、東京大学との共同遺跡調査や講座を行ない、様々な視点から地域をとらえる力や新たな歴史認識の醸成を図ってまいります。

共通の価値観や知識を持つ人材を育成し、社会の一体感を高め、時代に即した知識や技術を学べるよう、柔軟で多様なカリキュラムを設計することやグローバル化への対応など、利尻高等学校での学びに必要な新たな支援として、令和七年度から入学する生徒への学習用端末購入の世帯助成をはじめ、地域の課題を考え解決に必要なことを地域と連携して活動する事業への支援をすることで、生まれ育った地域での十二年間の教育活動が生きる力として育成され、「人づくり」として将来の社会を支える人材が育てられるとともに、義務教育における学校給食の無償化をはじめ、町の財源による子育てにかかる経済的な負担の軽減や環境整備が総合的に進められることへのご高配に深謝申し上げます。

教育行政の推進方針と主要な施策について申し上げます。

利尻富士町教育委員会では、小中一貫教育を柱として確実に成果につながる施策を深化させ、すべての教育活動を学校、家庭及び地域はもとより、関係機関や団体等との連携を図りながら本町教育のより一層の充実及び発展に全力で取り組んでまいります。

以上、町議会議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます、教育行政執行方針いたします。

## 交通事故死ゼロ3,000日達成!

～目指せ! 交通事故死  
ゼロ4,000日～

5月28日、町内における交通事故死ゼロ連続記録が3,000日を達成いたしました。達成を記念し、6月8日に総合交流促進施設りぶらにて、「利尻富士町交通安全大会」を実施し、北海道宗谷総合振興局副局長や稚内警察署長など約60名が出席されました。大会では、表彰状・感謝状の伝達のほか、尾形交通安全協会長より「交通安全宣言」として以下の4つについて宣言されました。

- ①交通ルールを守り、常に思いやりとゆずり合いの心を持ち、交通事故防止を図る。
- ②高齢者をはじめとする交通弱者の安全を確保する。
- ③全ての座席でのシートベルトやチャイルドシートの正しい着用を徹底する。
- ④「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」という意識を徹底し、飲酒運転の根絶に努める。

上記のことを、みなさん一人一人意識して、交通事故死ゼロ3,500日、4,000日と継続できるように地域全体で交通事故防止に努めましょう!!

またこの大会に併せて、りぶらで北海道警察音楽隊・カラーガード隊による達成記念コンサートが開催されました。



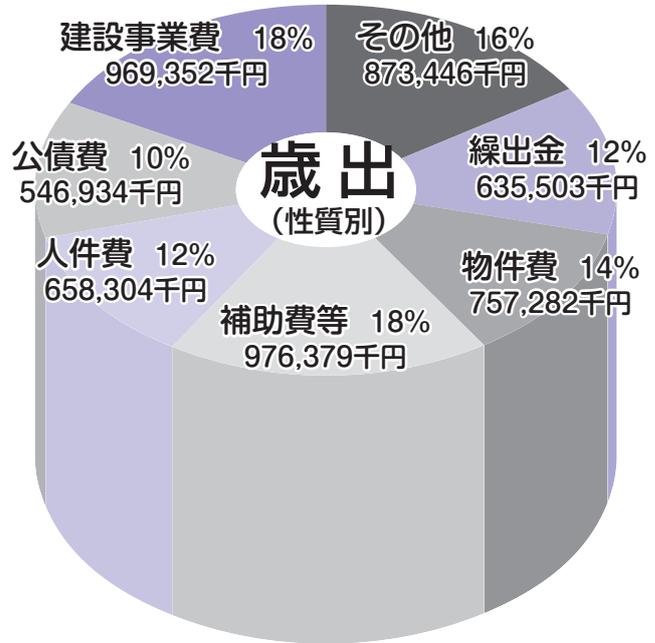
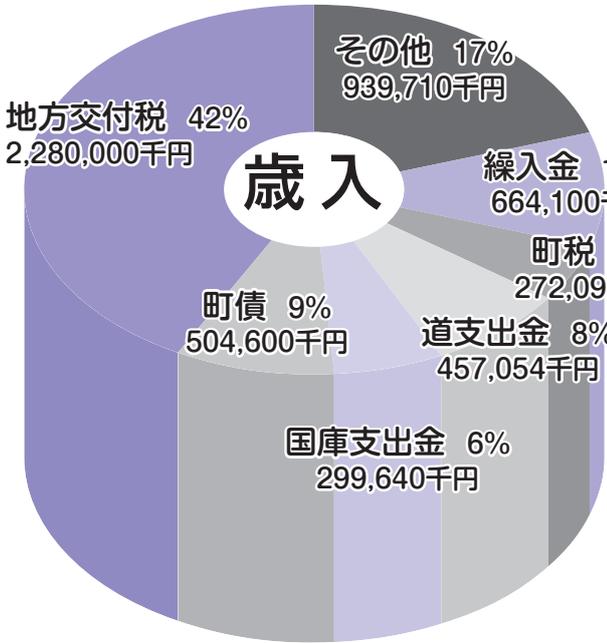
一般会計の歳入・歳出予算額は…

# 54億1,720万円

令和7年度の一般会計当初予算額は、前年度比5.6%の増となっております。特別会計の合計17億8,373万4千円、公営企業会計の合計4億5,041万2千円と合わせた町の予算総額は76億5,134万6千円で、前年度比約4.0%(2億9,753万7千円)の増額となります。

令和7年度の  
予算概要  
をお知らせします。

## 一般会計予算は？



■一般会計予算(目的別歳出予算) 単位：千円

科目	令和7年度	令和6年度	比較
議会費	45,237	45,666	△ 0.9%
総務費	1,040,133	917,551	13.4%
民生費	726,402	700,487	3.7%
衛生費	324,581	340,843	△ 4.8%
労働費	93	85	9.4%
農林水産費	183,872	175,059	5.0%
商工費	343,619	191,608	79.3%
土木費	1,126,554	1,163,803	△ 3.2%
消防費	198,009	197,142	0.4%
教育費	289,748	258,864	11.9%
地方創生費	28,491	20,064	42.0%
公債費	546,934	608,731	△ 10.2%
諸支出金	560,526	504,696	11.1%
災害復旧費	1	1	0%
予備費	3,000	3,000	0%
合計	5,417,200	5,127,600	5.6%

■特別会計予算(目的別歳出予算) 単位：千円

科目	令和7年度	令和6年度	比較
港湾整備事業特別会計	53,515	62,759	△ 14.7%
温泉事業特別会計	0	83,877	皆減
国保事業特別会計	376,408	379,541	△ 0.8%
後期高齢者医療特別会計	51,574	47,807	7.9%
介護保険事業特別会計	310,618	316,045	△ 1.7%
介護サービス特別会計	873,899	663,023	31.8%
歯科施設特別会計	48,656	50,176	△ 3.0%
国保施設特別会計	69,064	68,194	1.3%
合計	1,783,734	1,671,422	6.7%

■公営企業会計予算 単位：千円

科目	令和7年度	令和6年度	比較
簡易水道事業企業会計	113,465	100,318	13.1%
下水道事業企業会計	336,947	454,469	△ 25.9%
合計	450,412	554,787	△ 18.8%

# 町内 新就職者紹介



①出身地 ②配属先 ③趣味・特技 ④今後の抱負



やまざきひろと  
山崎大翔さん

①埼玉県  
②利尻礼文消防事務組合 利尻富士支署 救急救助係兼警防係  
③登山、テレマークスキー  
④きれいに整えられた芝生や、町民の皆さんの温かい雰囲気に惹かれ利尻富士町で働くことを決意致しました。消防職員・医療人としての責任をしっかりと持ちながら、自然の中での暮らしも楽しんでいきたいと思っています。利尻富士町の魅力を少しでも多くの方に知っていただけるよう島外への発信にも努めてまいります。未熟な点も多いかと思いますが、どうぞよろしく願い致します。



かまだれん  
鎌田 漣さん

①利尻富士町  
②利尻礼文消防事務組合 利尻富士支署 予防係  
③サッカー、ライブ鑑賞  
④4月から利尻礼文消防事務組合利尻富士支署に配属となりました。1日でも早く現場で信頼される職員として活躍できるよう努力していきます。与えられた業務を確実にこなすとともに救急救命士個人としての学びも継続していきたいと思っています。よろしく願い致します。



かわこしじょうたろう  
河越丞太郎さん

①利尻富士町  
②利尻礼文消防事務組合 利尻富士支署 庶務係  
③走ること  
④4月より利尻富士支署に配属となりました河越丞太郎です。私は利尻出身で小さなころからたくさんの方に支えていただき18年間過ごしてきました。そんな島民の皆さんの支えになるような職員を目指し日々努力したいと思っています。



おのうえ  
尾上ひなのさん

①利尻富士町  
②利尻礼文消防事務組合 利尻富士支署 警防係  
③音楽を聴くこと、ミニバレー、笑顔でいること  
④4月より利尻富士支署に配属になりました尾上ひなのです。ただいま「逃げない、負けない、諦めない。」をモットーに消防学校での厳しい訓練を受けています。先輩方から色々教わりながら、日々の仕事でたくさんの方々のことを吸収し、一日でも早く町民の方々のお力になれるよう努力していきたいと思っています。よろしく願い致します。



きしもとみお  
岸本美桜さん

①利尻富士町  
②鶯泊保育所 保育士  
③ドラマ鑑賞  
④働き始めて2か月が経ち、はじめは大変だと思っていた仕事が少しずつ楽しいと思えるようになってきました。まだまだ未熟ですが、たくさんの方のアドバイスを吸収して日々成長していけるように頑張りたいです。

## 警察官紹介



みやざき たけあき  
鶯泊駐在所 所長 宮崎 健朗さん

4月1日付で、鶯泊駐在所長に着任致しました宮崎です。登山・魚釣り・格闘技や球技等、屋外で体を動かすのが大好きです。山岳遭難救助隊に指定されていますので、遭難事案があった際は利尻山に出動致します。

住民の皆様が特殊詐欺等、犯罪被害に遭わないよう尽力すると共に、親しみやすい鶯泊駐在所を目指しますので、公私共々どうぞよろしく願い致します。

# カルチャーセンター・りっぶ館が リニューアルオープン致しました!

カルチャーセンター・りっぶ館の利用者を増やすため、令和7年5月にリニューアルオープン致しました。施設のリニューアルに際し、今年の3月より地域おこし協力隊として活動されている、清水隊員へインタビュー致しました。

## Q. 現在取り組んでいることはなんですか？

A. 利用者数が減少傾向にあったカルチャーセンター・りっぶ館を観光客にも分かりやすい名称、りしりアート・ビジターセンターとして通称使用し、利尻の歴史や文化などの展示は残しつつも、今の時代にあった空間づくりを行っております。小さな子供からご高齢の方にも足を運んでもらえるように、視覚的に楽しんでもらえるような展示を心がけています。また、雨の日でも過ごせる施設として親んでもらえるように、アート・ビジターセンターのSNSを開設・情報を発信していき、島外の方からも周知されるように取り組んでいます。観光の方にとどまらず、町民にも利用していただけるよう、今までとは違う施設になったことを広めていく活動を行っていきます。

## Q. 一番見てほしい展示は何ですか？

A. 一番見てほしい展示は展示室一番奥に展示してあるフォトウェディングのコーナーです。島の歴史や文化などはもちろん見ていただきたいのですが、ここでしか撮れない、新しい活動として、観光の方にも島民の方にも周知していただきたいと思っています。



しみず さき  
清水 咲希

業務：カルチャーセンター・りっぶ館の利用促進活動、地域活性化  
趣味：日常の写真撮影  
特技：走り高跳び



利尻・礼文サロベツ  
国立公園のVR体験



フォトウェディングコーナー



THE ISLAND ~アイランド~ の上映

ホームページ



Instagram



## Q. 今後どのような施設にしていきたいですか？

A. 利尻の歴史や文化、地域の伝統などを未来につなげ、過去にとどまらず、今（現在）とともに成長していく施設にしていきたいです。利尻島という土地と歴史が培ってきた文化、島内で行った活動、活躍、島にまつわることを、国内外に発信していく場所であるとともに、地域の中核の場所として、島民の方々が豊かな文化と共に誇りある拠り所となるようにしていきたいです。新たに休憩スペースやワーキングスペース等も設置予定であり、今までとは違った施設の利活用に取り組んでいきます。

# 地域おこし協力隊通信 vol.19

地域おこし協力隊の堀井です。昨年4月に着任してから、早くも一年余りが経ちました。

協力隊としての主な活動は、さけ孵化場での業務です。秋に島外から運ばれてきたサケの卵を孵化させ、春の放流まで育てるといった仕事に携わっています。

当然ながら当初はすべてが初めての経験で、業務の内容すら想像がつかない状態からのスタートでした。しかし、場長の澤目大輔さん、今年3月まで協力隊として活動されていた鈴木太郎さんをはじめ、先輩方の丁寧なご指導のおかげで今では孵化場の一員として気持ちよく業務に取り組んでいます。

秋口の卵の受け入れ準備から始まり、卵の輸送と収容。その後は卵の管理を続けながら、冬に入れば毎朝の雪かきが、孵化した稚魚たちが泳ぎだす頃には餌やりと池の清掃が日課となっていきます。

地道な作業の連続ですが、そうした日々の中で稚魚たちが目に見えて成長していく様子を見られるのは、不思議な手応えを感じられる時間でした。

さけの孵化・放流は秋から春にかけての事業のため、夏場は観光施設での草刈り作業にも従事しています。

ペシ岬、夕日ヶ丘、富士野園地、沼浦の展望台にキャンプ場など、美しい景色と心地よい風の中での作業は業務の一環ながら自然と触れ合える心地よい時間でした。作業中には観光客の方々から声をかけられることも多く、質問や写真撮影のお願いを受けるなど、人との交流も楽しませていただきました。

また前職が塗装業だったこともあり、各地の看板や標柱の塗装作業も担当させていただきました。背の高い草に半ば埋もれながら原生花園の看板を塗っている姿がよほど不審に見えたのでしょうか、不意に駐在さんから何をしているのかと声をかけられたのも、今では良い思い出です。

昨年9月には大型免許を取得する機会もいただきました。これは孵化場での卵の輸送業務のためですが、今後はそれ以外の場面でも地域のお役に立てればと考えています。

今年の孵化場業務もこの5月で終了します。すべての稚魚を放流し、池をひとつひとつ洗浄していく作業は達成感もあり少しの寂しさもあり……生き物の命を扱う責任とやりがいをあらためて実感し、貴重な経験をさせていただいていることに感謝しています。

そして利尻で迎える二度目の夏。今後の活動も観光施設の草刈りや整備、そして秋からの孵化場業務と、昨年からの流れを引き継いだものが中心となります。協力隊としての自発的な情報発信はまだまだ課題ですが、地に足をつけ、少しずつでも地域に貢献できるよう努めていきます。



# 保健師だより

総合保健福祉センター

## 健診は「受けた後」が大切です

40～74歳までの国民健康保険加入者が対象となる「特定健康診査(健診)」。令和6年度の受診率は42%と、約4割の方が健診を受けました。また、社会保険加入者の方の受診率は65%と国民健康保険の方より高い数値となっています。受診率は、住民の皆さまの健康に対する思いが数値に現れたものと考えられ、年々向上しています。健診を受けたことがない方も受けている方も、1年に1度、自分の健康を知る機会としていただけたら幸いです。

〔表1－受診者の有所見の傾向(R6年度)〕

	項目	
1位	最高血圧(130mmHg以上)	55.4%
2位	HbA1c(5.6%以上)	44.9%
3位	LDL(悪玉)コレステロール(120以上)	43.1%
4位	BMI(25以上)	34.1%
	腹囲(男性85cm以上、女性90cm以上)	34.1%

利尻富士町では、左記のとおり、メタボ、高血圧、HbA1c、LDL(悪玉)コレステロール、BMI、腹囲の割合がとても高くなっています。また、精密検査を受けない方も多く見られます。

健診は「受けた後」が大切です。健診結果を放置したままでは、病状が進行し仕事や趣味、生活に支障がでることもあります。病状が進行する前に保健センターに相談したり、健診結果説明会に参加、病院受診をするなど早期発見・治療につなげましょう。

## 健診結果説明会に参加しましょう!

令和7年度の健診結果説明会は、次のとおりです。年齢ごとに日程を設定していますのでぜひ活用してください!IPでもお知らせいたします。

20～74歳で健診を受けた方			75歳以上で健診を受けた方		
日程	集合時間	場所	日程	集合時間	場所
R7.7.3(木)	13:15	保健センター	R7.7.8(火)	13:15	保健センター
R7.7.4(金)	13:15	鬼脇支所	R7.7.9(水)	13:15	鬼脇支所
R7.11.13(木)	10:00	保健センター	R7.11.14(金)	10:00	保健センター
R7.11.13(木)	12:30	鬼脇支所	R7.11.14(金)	13:30	鬼脇支所

## わがまち タイムスりっぷ

### 連載⑥⑥ 戦後80年～墨塗り教科書

今年には戦後80年の節目の年です。1941(昭和16)年4月に、小学校は軍国教育にシフトした国民学校に改組され、これまでの尋常科が初等科(6年間)となり、高等科は2年間としました。太平洋戦争の口火が切られたのは、この年の12月でした。

日本の敗戦後、戦時中に使用されていた教科書には、戦意高揚などを促す箇所があったことから、GHQの指令により、紙貼りや墨塗りなどによる部分的な削除が行なわれました。利尻富士町には、当時利尻小学校で使われた教科書が30冊ほど残されています。

では、実際に削除されたのはどんな内容だったのでしょうか。

「初等科 国語 四」という教科書には、「三バナナ」というタイトルの文章が収録されています。

その墨塗り箇所は、「台湾から神戸や、東京へ通ふ汽船といふ汽船は、いつもバナナを積んでいます」「北海道や樺太はいふまでもなく、北支那から、北満州の雪の夜の夜々にも行つて、みんなを喜ばしています」というように、戦争に関連した国や土地の名が消されました。

こうした教科書の部分削除は、敗戦により教育方針が一変したことを表わしており、歴史の転換点を語る資料として貴重なものです。



教科書の一部は郷土資料館に展示しています。実際に墨塗り教科書などを使って勉強した記憶がある方は、お話をぜひお聞かせください。(教育委員会 山谷 ☎82-1370)

# ベビートーク

## 3人の元気な赤ちゃんを紹介するよ!



【両親】景史・沙耶  
【住所】栄町1

大川家長女の千波(ちなみ)です! ほっぺたぶくぶく真四角girlですが、抱っこが大好きなのでお外で会ったら抱っこしてくださいー! 家族共々、よろしくお祈りします!

おおかわちなみ  
**大川千波**ちゃん  
R7. 2. 13 生



【両親】玄・依里  
【住所】清川

こんにちは。遠藤由陽です。お風呂が大好きな男の子です。ぼくがおなかの中にいる小さいころ、お母さんは悠遊覧人Gで走ったんだって。そのときはまだ、ぼくがいるって知らなかったみたい。そのおかげで、ぼくは持久力がつきました! お昼もあまり眠くならないです(笑)。これからよろしくお祈りします!

えんどうゆうひ  
**遠藤由陽**くん  
R7. 1. 28 生



【両親】光太・茉莉江  
【住所】栄町1

藤原家長女の彩葉です★ヤンチャなお兄ちゃんに踏まれ、叩かれ、たくましく生きてます! パパにはお風呂の時、髪が多くてクルクルだから洗いづらいとブーブー言われるけど気にしません(°▽°) 暖かい日は散歩してるので話しかけてね(^^)

ふじわらいろは  
**藤原彩葉**ちゃん  
R7. 1. 14 生

### 戸籍窓口の

#### ★お誕生おめでとうございます★

保護者	続柄	氏名	月日	住所
藤原 光太・茉莉江 様	長女	彩葉(いろは)ちゃん	R7. 1. 14	栄町1
遠藤 玄・依里 様	二男	由陽(ゆうひ)くん	R7. 1. 28	清川
皆川 俊也・朱夏 様	長男	春(はる)くん	R7. 1. 30	富士岬
大川 景史・沙耶 様	長女	千波(ちなみ)ちゃん	R7. 2. 13	栄町1
阿部 鷹矢・瞳 様	二男	宗次朗(そうじろう)くん	R7. 3. 10	栄町2

#### ◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
領家 秀治 様	R 6. 11. 21	74歳	富士岬	田村 裕子 様	R 6. 11. 25	41歳	栄町1
山本 信雄 様	R 7. 1. 1	90歳	栄町1	石川 敏明 様	R 7. 1. 11	75歳	沼浦
若木はるみ 様	R 7. 1. 29	68歳	鬼脇1	石川 均 様	R 7. 2. 11	94歳	旭浜
平川 強 様	R 7. 3. 4	91歳	石崎	斉藤 英實 様	R 7. 3. 10	71歳	栄町1
塚本久美子 様	R 7. 3. 13	68歳	栄町1	矢木 壽子 様	R 7. 3. 20	87歳	大磯
蛸子 精子 様	R 7. 3. 21	90歳	栄町1	大高 ハツ 様	R 7. 3. 28	95歳	野塚
古川 恭司 様	R 7. 4. 7	89歳	栄町1	佐藤 信一 様	R 7. 4. 7	82歳	栄町2
和田 悦雄 様	R 7. 4. 18	75歳	鬼脇1	櫻庭 ハナ 様	R 7. 4. 26	104歳	鬼脇1
山田 栄喜 様	R 7. 4. 28	71歳	鬼脇1	野上 文三 様	R 7. 4. 28	90歳	石崎

### 編集後記

ウニ漁が始まり、観光客の入込も増え、いよいよ夏本番に向かい始めたと感じております。

本町では5月28日終日を以て交通事故死ゼロ3000日を達成致しました。これも町民の皆様の交通安全意識の高さによる達成だと、改めてお礼申し上げます。引き続き交通事故には十分注意し、交通ルールの厳守と安全運転を心がけて運転いただくようお願い申し上げます。

これからの季節は祭典を始め各種イベントが開催されていきますが、交通事故だけでなく、気候の変化等体調にも気を付けて健康にお過ごしください。

### 人口のうごき (令和7年5月31日現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	728	763	1,491	809
鬼脇	296	332	628	381
合計	1,024	1,095	2,119	1,190